

第1回地域連携パス運用会議 議事録

開催日時：平成18年6月5日（月）19：00～20：00

開催場所：岡山赤十字病院 センター棟4階研修室

出席者：岡山あさひ病院（柚木 Dr、十河 Dr、井上 Ns、吉村 PT、荒尾 PT、中村 PT、山東 PT、山崎 MSW、冠野 MSW）

岡山光南病院（鈴木 Dr、松井 Ns、原田 PT、若林 MSW）

小林内科診療所（小林 Dr、永井 Dr、藤沢、大月 Ns、森 PT、永井 MSW）

竜操整形外科病院（石井 Dr、難波、吉田、川本 Ns、吉永 PT、万袋 MSW）

岡山赤十字病院玉野分院（林 Dr、武田 Ns、杉山 Ns、藤田 PHN、渡辺 PT、依田）

岡山赤十字病院（那須 Dr、片岡 Dr、福力 Ns、吉原 Ns、藤岡 Ns、石津 Ns、和田 Ns、石田 PT、奥山 PT、渡辺 PT、松川 PT、小幡 PT、中尾 PT、武村 PT、久村、濱口 MSW、内藤 MSW） 計48名

1、参加病院紹介

岡山あさひ病院—回復期90床、一般39床。入院患者は脳血管疾患が多い。

岡山光南病院—回復期44床。整形患者が多い。

小林内科診療所—在宅療養支援診療所。介護保険制度のサービス提供事業所あり。

竜操整形外科病院—整形外科単科。亜急性期11床、回復期100床。

岡山赤十字病院玉野分院—内科、リハビリテーション科。般41床、療養42床。

2、連携の流れとパスの説明

片岡 Dr より説明

- ・ 地域連携パスを用いることにより、良質な医療と効率的医療の両面の成果を求める。
- ・ 流れとしては、
 - ① 入院時に主治医がパスを用いて患者様へ説明し、希望の転院先を決定。転院先にMSWを通じて、約2週間後に転院希望の旨連絡。
 - ② 特にトラブル等なければ約2週間で転院（2週間超えることがあればバリエーションとみなす）。転院時に医療者用パスとリハビリ用パスを転院先に持参し、継続して利用する。
 - ③ 転院先の病院を退院時には医療者用パスとリハビリ用パスを日赤に返してもらい、アウトカムを確認する。退院後のフォローについても両病院で情報共有しながら行っていく。

- ・ パスの内容について—A4 サイズ。上半分は医師が、下半分は看護師が記入する。看護記録もパスの中に記入していく。
- ・ 問題点
看護記録も記入するには欄が狭い。→欄を広げる。
急性期病院のパスを統一してほしい。→将来的には市内で統一も検討していきたいが、今回は日赤と本日の参加病院で実施していく。

3、事務手続きについて

総務課久村氏より説明

地域連携パス利用にあたり、社会保険への届出が必要になる。本日各病院に配布している様式 12-1、12-2 を連携病院分まとめて日赤から社会保険へ提出予定。6/15 までに提出し、7/1 からの運用を考えている。よって各病院必要事項を記入のうえ、早急に返信用封筒にて日赤へ送り返してほしい。

4、職種ごとの討議

医師、看護師、理学療法士・作業療法士、事務職、MSW の各職種に分かれ、パス内容について話し合う。→別紙添付

5、クリティカルパス発表会の案内

平成 18 年 6 月 27 日（火）17：30～18：30

岡山赤十字病院 センター棟 4 階研修室

「地域連携パス ～シームレスケア研究会設立からパス作成までの経過～」

香川労災病院 脳神経外科部長 藤本俊一郎先生

（書記：内藤）